|  |  |
| --- | --- |
| 甲斐市立　玉幡中学校　自己評価書  平成31年1月25日　(金)　作成 | |
| 校長　「　中満　一幸　」　　記述者　職名（教諭）「　河西よしみ　」 | |
| 学校教育目標　 「ふるさとを愛し，高い知性と豊かな情操，たくましい意志と創造的な個性をもつ心身ともに健全な生徒の育成」 | |
| 学校経営方針  ・奉仕活動・ボランティア活動を中心に据えた特色ある学校づくりに努める。  ・次期学習指導要領を見据えた教育課程の編成・実践に努める。  ・自ら学ぶ習慣を育てる学習方法の改善と，その指導に努める。  ・基本的な生活習慣の確立と，自他の尊重を重んじる「心の教育」を推進する。  ・健康・安全指導の充実を図り，生涯体育の基礎作りを目指す。  ・生徒指導・教育相談・防災教育等の充実を図る。  ・学校・家庭・地域の連携を深め，地域とともに歩む教育活動の推進に努める。  ・学校の教育活動全体を通して，体系的なキャリア教育の推進に努める。 | |
| １ 全体評価  ○今年度の総合評価は，49観点全てで最頻値がAまたはBの評価となっている。49観点中B評価の割合が高かったのは「Ⅲ学習指導」の項目である。  ○「Ⅲ学習指導」の項目で，「学びの意欲を喚起する授業・質問や発言が出てくる授業・宿題や家庭学習の指導」においてB評価が高い。（昨年度も同様）  ○「Ⅰ学校教育目標・学校経営」「Ⅵ学校の特色に関して」の項目においては，全観点においてほぼA評価が最頻値となっている（昨年度も同様）。  ○「生徒指導」において「児童生徒理解のためにコミュケーションを図っている」「生徒の近くにいるように努めている」の項目が特にA評価の中でも高い。  ○「地域との連携」の項目で「教育活動の中に地域の人材を活用し,地域の教育力を生かす指導を行っている」においてB評価が高い。 | |
| ２　項目ごとの評価結果（達成状況・改善策） | |
| Ⅰ　学校教育目標・学校経営について | |
| 達成状況 | ・全8観点でAとB評価の合計がほぼ95％以上となっている。  ・「P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動を行っている」について，B評価の方が54.8%である。  ・「職場の福利厚生や健康管理」は，A評価が53.1%である。 |
| 改善策 | ・「職場の福利厚生・健康管理」については，教員の多忙化が言われる中，今年度も定期テストのあとの採点や成績処理のための事務処理日を各学期設けた。また今年度は国の指示で勤務実態調査が行われ,実際の勤務実態を意識することで仕事の効率化などを各自考えるきっかけとなった。来年度も，できるだけノー残業デーや事務処理日を設け,行事や会議の精選に取り組み，仕事の効率化および多忙化解消に努め，教員の体調管理に役立てたいと考える。  ・比較的A 評価の低い「P→D→C→Aサイクル」については，このアンケート結果を参照し，学習活動・行事等，様々な場面で，振り返りと今後の進め方を校内研や職員会義で確認していくことで，学校教育目標の実現を目指しより高い教育活動につなげていきたい。 |
| Ⅱ　学校運営について | |
| 達成状況 | ・9観点中すべてにおいてAとB評価の合計が96％以上となっている。（昨年より上昇）  ・「施設設備の点検，整備保全」「個人情報保護・情報セキュリティーの観点から，諸表簿や文書，記憶媒体を適切に管理・活用している」「他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて，教育活動にあたっている」「職務上 報告・連絡・相談・確認 を行っている」「職員間のコミュニケーションが取れている」においてC.D評価はない。  ・「危機管理マニュアルを理解している」「校内研究に主体的に関わっている」職員間のコミュニケーションがとれている」の観点で，B評価が最頻値となっている。 |
| 改善策 | ・「施設設備を定期的に点検し，整備保全している」について，本校は創立35年を経て，様々なところが老朽化し，整備保全にも限界がある。今後，大規模な改修を期待したい。  ・本校では，成績や個人情報に関する紙のデータは，シュレッダーで処理し，またネットに繋がらないパソコンで通信表等の管理をしている。年度末には専門業者により，重要紙文書の溶解処理を行っている。今回情報管理に関する観点でCまたはD評価の回答をした教職員はいないが，今後もさらに管理の徹底を図っていく必要がある。  ・危機管理については，火災・地震等の防災指導が行われているが，これらの取組を継続するとともに，あらゆる場面での危機管理への意識を高めていきたい。  ・「他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて，教育活動にあたっている」はA評価が高いが，「職員間のコミュケーションがとれている」にはB評価が高い。コミュニケーションを職員間でとるためには多忙化の中では，意識して取らないと取ることができない。前述した多忙化解消等で職員間のコミュニケーションがとれるような機会をとっていく必要性がある。そして自信をもって教育にあたれるように努めたい。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ⅲ　学習指導について（生徒用アンケートも含めて） | | | |
| 達  成状況  達  成状況  達  成状況  達  成状況  達  成状況  達  成状況  改善策 | | | ・10観点中すべてにおいてAとBの評価の合計が92％以上となっている。しかし，他の指導に比べ，教員の「学習指導について」はB評価が最頻値である。  ・「民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている」「基礎・基本の定着を図る授業を行っている」においてはAとBの評価の合計は100%となっている。（昨年同様）  ※「生徒へのアンケート」全校集計より  ⑤「学校の授業は楽しいですか」（上段H28　中段H29　下段H30）      ・昨年度よりAB評価の達成度が高くなっている。2，3年生は80％，1年生は95%がAB評価であった。  【今年度の学年別でみた結果】  1年生  2年生  3年生  ・1年生のAB評価が高い。  ⑥「先生はよく勉強を教えてくれますか」（上段H28　中段H29　下段H30）      ・3年間ではAB評価はほぼ同じ。  【関連項目のAB評価の合計による比較】（上段H28　中段H29　下段H30）      生　徒：先生はよく勉強を教えてくれますか  教職員：生徒の学びの意欲を喚起する授業を行っている  保護者：学校は熱心に授業に取り組んでいると思う  ・保護者のAB評価の合計は，年度を追うごとに少しずつ上昇している。生徒のA評価も上昇している。しかし教員のA評価が低くなっている。  ⑨「授業（勉強）でわからないことがあったら，先生に聞いていますか」  （上段H28　中段H29　下段H30）      ・3年間ではAB評価の合計が昨年度より上がっている。3学年ともB評価が最頻値だったが3年生のA評価は，他の学年より高かった。  ⑪「授業中に発言や発表をしますか」（上段H28　中段H29　下段H30）      ・3年間の中ではAB評価が最も高い。  【今年度の学年別でみた結果】  1年生  2年生  3年生  ・どの学年も発言・発表をよくしている。特に2,3年生は，発言・発表をよくしている。  ⑫「宿題を忘れずにしていますか」（上段H28　中段H29　下段H30）      ・3年間ではA評価AB評価とも高くなっている。  【今年度の学年別でみた結果】  １年生  2年生  3年生  ・1年3年2年の順で，AB評価が高い。  オリジナル項目  【今年度の学年別でみた結果】  ㉕あなたは授業の忘れ物をしていませんか。  1年生  2年生  3年生  A:しないB:あまりしない　C:する　D:よくする  ・学年が上がるにつれてA評価が高いが全体の2割以上は忘れ物をしている。  ⑬「月曜日から金曜日までは，学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか　　　　　(※1年：70分，2年：80分，3年：90分)」（上段H28　中段H29　下段H30）      A:いつもしている，B:だいたいしている，C:あまりしていない，D:していない  ・３年間でAB評価が最も高い。  【今年度の学年別でみた結果】  1年生  2年生  3年生  ・1，3年生は8割の生徒が達成しているが，2年生は約半数は目標時間の勉強をあまりしていない，またはしていない。  ⑲月曜日から金曜日までは家や図書館などで一日あたりどのくらいの時間読書をしますか。  【今年度の学年別でみた結果】  1年生  2年生  3年生  A：2時間以上　B:1時間以上1時間59分　C：30分以上59分　D:10分以上29分　E：1分以上9分　F:全くしない  ・「全くしない」割合が，どの学年も3割から4割いる。  【オリジナル項目】  ㉖あなたは家でテレビゲームや携帯ゲームを２時間以上はしていない。  A：しないB：あまりしない　C:する　D:よくする  【今年度の学年別でみた結果】  1年生  2年生  3年生  【オリジナル項目】  保護者㉕お子さんはゲームをよくしていないと思いますか。  A:とても思う　B:　思う　C:あまり思わない　D:思わない　E:わからない  1年生  2年生  3年生  ・1年生は5割超，2年生では約7割，3年生も5割弱の生徒がゲームを2時間以上している。昨年度と比べると1年生が7割強だったので今年度の1年生は少なくなっている。保護者は，ゲームを2時間以上やっていると認識しているのは，1年生は4割弱，2年生は5割弱，3年生は4割で子どもの実態を甘く認識している。  ・生徒アンケートで，「学校の授業は楽しいですか」はAB達成度が高くなっている。また「先生はよく勉強を教えてくれますか」の観点において，AとB評価の合計で比較すると，3年間とも98.0％と高い数値を示している。今後もより多くの生徒が楽しくしっかり勉強できる状況を提供していきたい。  ・生徒アンケートの「授業中に発言や発表をしますか」は，今年度最も高く，80%を超えている。今年度，校内研で話形をつかった発言を意識させたことも要因と考えられる。学年を追って上昇している。グローバル人材の育成のためにも授業の中において積極的に「発言・発表」の機会を確保し，「わからないことをそのままにしない」ようにしていきたい。  ・生徒アンケート⑫「宿題を忘れずにしていますか」の観点では，AB評価が今年度90%以上である。またオリジナル項目㉕「あなたは授業の忘れ物をしますか」では3学年とも20%以上の生徒が忘れ物をしている。学年による差異があるが，やりとり帳などをつかって教師による丁寧な指導を行っていきたい。  ・生徒アンケート⑬の「月曜日から金曜日までは，学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか」の観点では，「勉強をいつもしている」「だいたいしている」と回答した生徒が，3年間では最も高い。しかし2年生はCD評価が約5割弱いる。また⑲「月曜日から金曜日まで家や図書館などで一日あたりどのくらいの時間読書をしますか」は3学年ともCD  評価が4割から5割いる。一方オリジナル項目㉖「あなたは家でテレビゲームや携帯ゲームをしますか」（保護者も同様）について，1年生6割，2年生7割，3年生5割弱という高い割合でゲームしている。保護者は子どもの実態を甘く捉えている。家庭での学習時間や読書時間はゲームに多くの時間が費やされていることが伺える。校内研究会で「学力向上」「家庭学習」を念頭に，「やまなしスタンダード」を取り入れているが，今後，この状況を鑑み学校・家庭との連携を更にはかっていく必要があり，こうした状況の改善を目指していきたい。 |
| Ⅳ　生徒指導について（生徒用アンケートも含めて） | | | |
|  | ・教師の自己評価は，７観点中4観点においてA評価が最頻値となっている。全観点でAとB評価の合計が95％以上である（昨年度も同様）。 | | |
| 達成状況  達成状況  達成状況  達成状況  達成状況  達成状況 | | | ※「生徒アンケート」全校集計より  ①「学校は楽しいですか」（上段H28 中段H29 下段H30）      【今年度の学年別でみた結果】  1年生  2年生  3年生  ・1年生は98%，2年生は90%以上，3年生は95%以上が，学校が楽しいと感じている。  ②「クラス（学年）に仲の良い友達がいますか」（上段H28　中段H29　下段H30）      【関連項目のAB評価の合計による比較】（上段H28　中段H29　下段H30）      生　徒：クラス（学年）に仲の良い友達がいますか  保護者：お子さんの仲の良い友達を知っている  ・生徒も保護者もAB評価は９０％以上である。  ③「困ったことがあったら，相談できる友達がいますか」（上段H28　中段H29　下段H30）      【関連項目のAB評価の合計による比較】（上段H28　中段H29　下段H30）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　    生　徒：困ったことがあったら，相談できる友達がいますか  保護者：お子さんには，困ったことがあった時に相談などのできる友達がいますか  ・生徒のアンケートから９０％近くの生徒は相談できる友達がいる。  ⑩「困ったことがあったら，相談できる先生がいますか」（上段H28　中段H29　下段H30）      ・「相談できる先生がいる」は，年度を追って上昇している。  【関連項目のAB評価の合計による比較】（上段H28　中段H29　下段H30）      生　徒（上段）：困ったことがあったら，相談ができる先生がいますか  保護者（下段）：お子さんのことで，相談できる先生がいますか  ・A評価は生徒は76%以上保護者は70％以上である。  ④「人が困っているときは，進んで助けていますか」（上段H28，中段H29　下段H30）      ・3年間の中では，最も高い数値95％以上。  ⑰「朝ごはんを食べて登校していますか」（上段H28，中段H29　下段H30）      ・3年間で最も高く，AB評価94%の生徒が朝ご飯を食べている。  【関連項目のAB評価の合計による比較】（上段H28　中段H29　下段H30）      生　徒（上段）：朝ごはんを食べて登校していますか  保護者（下段）：お子さんは，朝ごはんを食べて登校していますか  ・生徒・保護者とも94%以上が食べている。  ⑮月曜から金曜日までは，何時くらいに寝ていますか（保護者：平均睡眠時間はどれくらい）  ・保護者は7時間（44.5%）が多いが，生徒は6時間も28.6%いる。保護者が考えているほど生徒は睡眠を取っていない。  【今年度の学年別でみた結果】  1年生  2年生  3年生  A:午後8時前　B:午後9時前　C:午後10時前　D:午後11時前　E:午前0時前  F:午前1時前　G:午前1時過ぎ  ・1年生は11時前までに寝ている生徒は8割以上いるが，2年生では5割，3年生では4割程度である。  ・2年生で16%，3年生では20%の生徒が1時前後に寝ている。  ⑭家の人と学校での様子を話していますか。  1年生  2年生  3年生  ・1年生は85%，2，3年生は70%程度の生徒が家の人と話をしている。  ⑳将来の夢や希望をもっていますか。  1年生  2年生  3年生  ・1年生は80%強，2，3年生の70％強が夢や希望をもっている。 |
| 改善策 | | | ・「困ったことがあったら，相談できる友達がいますか」「困ったことがあったら，相談ができる先生がいますか」はともに，高評価である。今後も，生徒に寄り添って，よりよい学校生活が送れるように支援していきたい。  ・甲斐市では生徒間の人間関係の理解を深めるQ-Uテスト，各学期1回のいじめアンケートを毎年実施している。教職員が把握できていない事例に対しても，速やかな対応をしたり学年会議や職員会議，生徒指導部会でその結果を共有する時間を設け，相互に情報交換をすることで，よりよい解決を図ってきた。今後もいじめの根絶と，生徒一人一人に目を向けよりよい学級生活が送れるよう努めていきたい。  ・「クラス（学年）に仲の良い友達がいますか」の観点で，AとB評価の合計は90％を超える高い数値となっている。しかし，D評価が1年で1名，3年で2名いる。その実態をいつも心にとめ，一人一人の生徒が孤独に陥らないよう配慮していく必要がある。  ・生活リズムの乱れは睡眠にも起因する。朝ごはんを食べている割合は高いが，睡眠は，改善を要する生徒がいる。また保護者の把握している時間と生徒の睡眠時間に差異がある。生活リズムの乱れが，学校生活や学習にも影響することを考えると，家庭と学校が協力していく必要がある。  ・⑳「将来の夢や希望をもっていますか。」について，今後も生き方教育をすすめ，より多くの生徒が，夢や希望をもって生き生きと生活できるよう支援していきたい。 |
| Ⅴ　地域との連携について | | | |
| 達成状況 | | ・最頻値がA評価になっている観点が4，B評価になっている観点が5で，達成度が低い傾向にある項目の一つである。AとB評価の合計は，9観点中6観点で90％以上となっている（昨年度は9観点中7観点）。  ※「生徒アンケート」全校集計より  ⑯今住んでいる地域の行事に参加していますか」（上段H28中段H29　下段H30）      ・3年間でAB評価が，最も高い。 | |
| 達成状況 | | 【関連項目のAB評価の合計による比較（上段H28　中段H29　下段H30）      生　徒（上段）：今住んでいる地域の行事に参加していますか  保護者（下段）：お子さんは今住んでいる地域の行事に参加していますか  A:よくしているB:だいたい参加しているC:あまり参加していない　D:参加していない  ・生徒の参加率への意識が上がっている。  ⑳「PTA活動に参加していますか」（上段H28　中段H29下段H30）    A:よくしているB:だいたい参加している　C:あまり参加していないD:参加していない  ・PTA活動に参加している保護者のAB評価が上昇している。  ※あなたは教育活動の中に地域人材や施設を活用し地域の教育力を生かす指導を行っている。 | |
| ※あなたは保護者や地域の願いに応えるため学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け情報収集を行っている。 | |
| 達成状況 | | | ※保護者は学習指導や生活指導に協力的である。  ※あなたは通信や便りなどで学校の様子を家庭や地域に伝えるように努めている。 |
| 改善策 | | | ・生徒の地域行事への参加や保護者のPTA活動への参加が上昇している。保護者や保護司の正門でのあいさつ活動や生徒会のあいさつへの取り組み，学園祭前の生徒・保護者・教職員の草刈り，地域に出向いての清掃活動など様々な活動を行っている。今後も開かれた学校を目指し，継続して活動を進めていきたい。  ・教職員の「地域の人材活用・施設活用」「保護者や地域の願いに応えるため要望を聞くなど情報収集を行っている」「保護者は，学習指導や生活指導に協力的である」等においてB評価が最頻値である。地域と連携するきっかけをつかめていないのが現状ある。学校運営委員会や学校関係者評価委員会，PTA等，地域や保護者の声を聞く機会を利用し，地域人材や地域の要望を聞いたり，保護者への協力を促したりして，教育活動に生かしていきたい。 |
| Ⅵ　学校の特色に関して | | | |
| 達成状況 | | | ・全6観点で最頻値がA評価となっている（昨年度も同様）。6観点中5観点でAとB評価の合計が100％になっている。  ※「生徒アンケート」全校集計より  ⑱「地域の人と出会ったら挨拶をしていますか」（上段H28　中段H29　下段H30）      ・昨年度と同じ。  【関連項目のAB評価の合計による比較】（上段H28　中段H29　下段H30）  \*保護者①は地域の人との挨拶、保護者②は家庭での挨拶について      ・保護者が，地域の人へのあいさつをするよう指導するはだんだん減少している。  生　徒：地域の人と出会ったら挨拶をしていますか  教職員：生徒が進んで挨拶をするよう，指導に努めている  保護者：学校は，子ども達に学校外でも挨拶をするように指導していると思う |
| 改善策 | | | ・本校の生徒は，さまざまなあいさつ活動の成果として，学校内外であいさつをよくしている。また行事にも積極的に取り組んでいることが特徴である。この良さを更に生かし，生徒が過ごしやすい学校作りに励んでいきたい。 |
| ３　まとめ  ＜成果と課題＞  ・本校には生徒指導上の諸問題がかつては多くあり，甲斐市教育委員会をはじめとした関係諸機関と連携する中で，それらの問題解決を図ってきた。様々な取組を経て，今では落ち着いた学校生活を生徒たちは送っている。しかし今後も危機管理意識をもって，この状態を維持・向上させられるよう，職員一丸となって安心安全な学校・玉中教育のさらなる向上に努めていきたい。  ・毎月の保護司あいさつ運動，保護者あいさつ運動，生徒による朝のあいさつ運動を行っている。また地域への清掃活動を継続的に行っている。今年度も9月の学園祭の前に保護者・生徒・教職員で校庭及び周辺の除草作業を行った。多くの保護者が生徒とともにきれいな学校作りに協力してくれた。こうした取り組みにより，家庭や地域との連携が更に図られ，数値的にも「Ⅴ地域との連携」の項目において，良好な状況となっている。今後もさらに地域に開かれた玉幡中を目指し，継続していける取り組みを常に考えていきたい。  ・地域や家庭との連携を推進するため，三者懇談や授業参観日のない月を中心に，月に3日，学校開放日を設け校門を開放している。ただ昨年度同様、学校開放日が総体の壮行会など行事等に重なるときは，保護者も比較的多くが来校するが，そうでない時の来校者は少数である。来校者が少なくても，いつでも気軽に来られるような状況は大切であると考える。地域や家庭との連携を深める有意義な機会となるよう，更に改善方法を考えていきたい。  ・校内研のテーマに「学力向上」を掲げ，「やまなしスタンダード」を取り入れた研究を行っている。アンケートにもあるように，学校での授業への取り組み「忘れ物・発表・発言・質問」等の課題や，家庭での睡眠時間や学習時間についての基本的な生活習慣の見直し等，学校と家庭が連携して取り組む必要があることについて，今後，研究を進め改善策を考えていきたい。  ・これからも特色ある学校づくりを目指し，地域や保護者から信頼される学校を築くよう努めていきたい。 | | | |